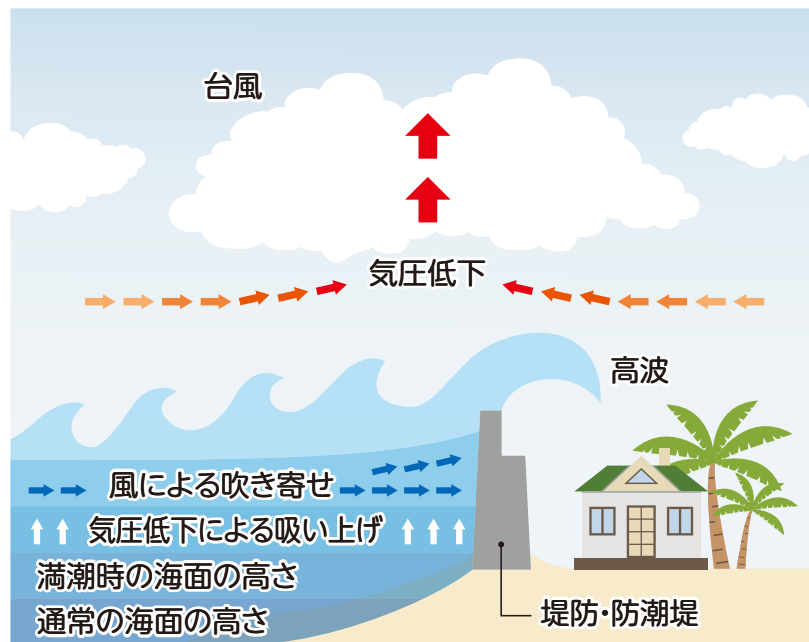


# 高潮

## 高潮が発生する仕組み

高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により、海面が異常に高くなる現象です。高潮が発生するとその高い潮位と波浪・強風により、海水が堤防を越えるようになり、背後地が浸水する可能性があります。また、高潮が発生している海域に流れ込む河川があれば、高い潮位や波浪により河川の流が阻害されます。そのため、川沿いでは氾濫が発生し、海岸から離れた内陸部にまで被害を及ぼすこともあります。



## 高潮注意報・警報・特別警報

高潮が起きるような台風等の接近時には、潮位の上昇よりも先に暴風が吹き始めるため屋外への立退き避難が困難となります。暴風警報は、暴風が吹き始める数時間前に発表しますので、暴風警報が発表されたときは、高潮警報を待つことなく、高潮から命を守るために必要な避難行動を開始することが重要です。

<p>台風が接近し、潮位が上昇</p> <p><b>高潮注意報</b></p> <p>台風や低気圧等による異常な潮位上昇により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表</p>	<p>暴風警報、さらに潮位が上昇</p> <p><b>高潮警報</b></p> <p>台風や低気圧等による異常な潮位上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表</p>	<p>台風が最接近し、高潮による浸水が発生</p> <p><b>高潮特別警報</b></p> <p>数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想されたときに発表</p>
<p>被害が想定される時には</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビやラジオ、インターネットなどで最新の防災気象情報入手</li> <li>非常用品や指定避難所等、避難経路を確認</li> <li>災害に備えて、家の外まわりを点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暴風域に入る前に早めの避難</li> <li>緊急速報メールや防災行政無線など市からの避難情報に注意する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣近所の安全を確認する</li> <li>避難時に支援が必要な方への支援を行う</li> <li>災害情報、被害情報を収集する</li> <li>協力して避難や救出活動などを行う</li> </ul>

## 防災メモ 高潮の危険度

満潮の時と、台風が上陸するタイミングが重なると、高潮の危険が高まります。台風が市の西側を通るときは、特に風に警戒を強める必要があります。台風の進路に加えて、台風が福津市の東側を通るのか西側を通るのかにも注目して、予報を見てみましょう。

## 防災メモ 津波の水位、到達時間

県では、津波防災地域づくりに関する法律に基づき、津波浸水想定を設定しています。市の最大クラスの津波想定(西山断層地震)は、影響開始時間が地震発生1分後で標高水位20cm、最高津波到達時間が地震発生8分後で標高水位3.8mという予想が出ています。

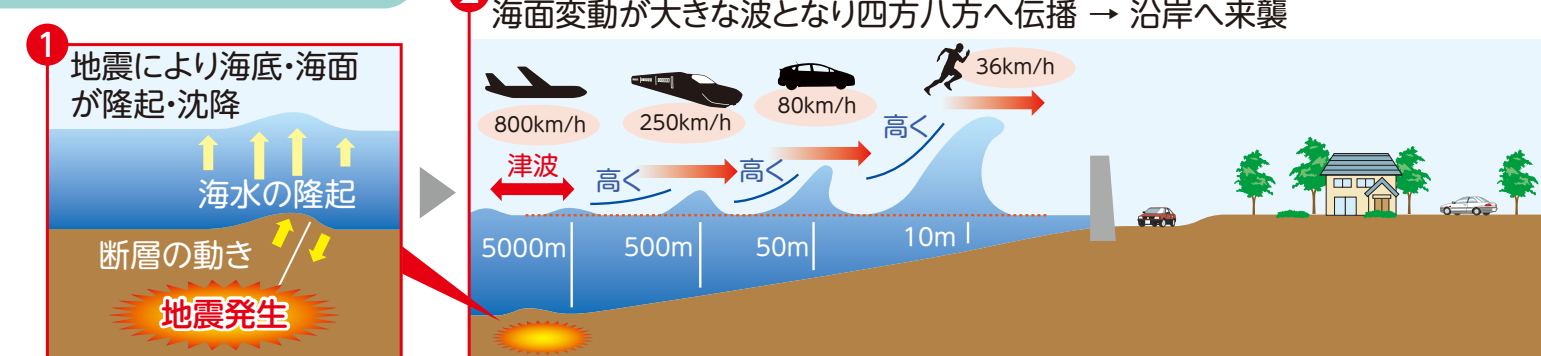


# 津波

気象庁では、津波による災害の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分を目標に津波警報(大津波、津波)または津波注意報を発表します。

**津波とは** 海底で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となり四方八方に伝播するものが津波です。逆に、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近づくにつれ、後から来る波が前の波に追いつき、波高が高くなります。

## 津波の速度と高さ



## 津波警報・注意報の種類

※大津波警報は特別警報に位置付けられています。

<p><b>津波注意報</b></p> <p>〈1m〉</p> <p>予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。</p> <p>海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。</p> <p>【津波注意報のサイレン音】 サイレン吹鳴時間 無音時間 10秒 2秒 10秒 2秒 ※サイレン音は10秒吹鳴2秒休止の2回繰り返し</p>	<p><b>津波警報</b></p> <p>〈3m〉</p> <p>予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。</p> <p>標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。</p> <p>【津波警報のサイレン音】 サイレン吹鳴時間 無音時間 5秒 6秒 5秒 6秒 ※サイレン音は5秒吹鳴6秒休止の2回繰り返し</p>	<p><b>大津波警報</b></p> <p>〈5m、10m、10m超〉</p> <p>予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。</p> <p>木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。</p> <p>【大津波警報のサイレン音】 サイレン吹鳴時間 無音時間 3秒 2秒 3秒 2秒 3秒 2秒 ※サイレン音は3秒吹鳴2秒休止の3回繰り返し</p>
<p>※津波のおそれがあるときには、防災行政無線からサイレンを吹鳴し、サイレンの後に音声放送を行います。</p>		

## 津波が発生したときには

海岸や川の近くで地震の揺れを感じたら、速やかに避難しましょう。津波が海岸にやってくるのを見てから避難を始めても間に合いません。

- 小さな揺れでも油断禁物**  
小さな地震でも、長い時間ゆっくりとした揺れの場合、津波が来ることがあります。
- 高い場所へ避難する**  
海岸からはなれ、「より高い」場所へ避難しましょう。
- スピードは速い**  
「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあります。海岸近くにいる時に揺れを感じたら、ただちに避難しましょう。
- 繰り返し来る**  
津波は繰り返し襲ってきます。また、第1波が最大の高さになるとは限りません。波が落ち着くまでは注意しましょう。
- 引き潮がなくても注意**  
震源付近の地形によっては、引き潮が起こることなく大きな波が押し寄せる場合もあります。
- 大潮の満潮のときは特に要注意**  
満潮のときは水位が高くなっているので、被害が大きくなります。
- 正しい情報を聞く**  
テレビ、ラジオ、インターネットなどで正しい情報を入手しましょう。
- 河川に近づかない**  
津波は河川をさかのぼり、内陸深くまで進入することもありますので、河川に近づかないようにしましょう。
- 海岸に近づかない**  
注意報、警報が解除されるまで海辺には絶対に近づかないようにしましょう。
- 海上では**  
船舶は無線などの情報ですみやかに行動しましょう。